

1 背景と現状

- 今年度、健康日本21かりや計画に基づき、市民へのアンケートで「いつ歯を磨くか」について10年振りに調査を実施した。
- 歯磨き促進の観点で、現状、市では子どもへは乳幼児健診において歯科衛生士がブラッシング指導をしている一方、大人世代には啓発ポスター掲載等の広報施策を講じているのみである。

3 実現したい未来

- R6：市民の歯磨き促進・歯磨き実態のデータ可視化・分析のトライアル実証
- R7：有効性が認められたソリューションの拡大を図る
- R8：「寝る前に歯を磨く」の割合が概ね60%程度まで改善し、市民の健康増進と医療費抑制を実現する

2 解決したい課題

- 同アンケートでは、最も細菌が増殖しやすい「寝る前」に歯を磨く人が40%程度となり、10年前と比較して減少傾向のため市民の健康悪化のリスクが高くなっていると考えられる。
- しかしながら、刈谷市民の歯磨き習慣についてデータは取得しておらず、歯磨き習慣の割合が悪化した実態の把握・分析ができない。

4 想定する解決策や技術

- 歯磨き実態把握と、歯磨き促進につながるデジタルソリューション
 - ターゲットを大人世代とし、スマートフォン上で歯の状態が可視化され、歯磨き啓発やアラートにつながる仕組み
 - ターゲットを子どもとし、ポケモンスマイルのようなアプリによる普及促進とともに、実績によりシールがもらえたり歯科検診を受けられる仕組み etc